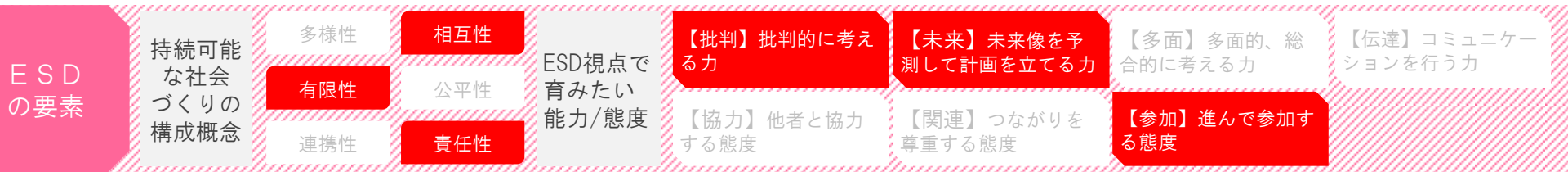


「歩くまち京都」学習

小学校低学年 小学校高学年

小学校中学年 中学校



プログラムの目標

本プログラムは小学校の全学年を通したプログラムで、次の目標を持っている。

- ①低学年…日ごろ馴染みのない公共交通機関としての市バスに親しみを持つとともに、市バスにはより多くの人に利用してもらえるように、様々な工夫がされていることを知る。
- ②中学年…自分自身とクルマとの関係を、環境・安全・健康等、多様な視点から振り返ることを通して、クルマに頼りすぎることなくクルマと「賢く」つきあうにはどのようにすればよいかを考える。
- ③高学年…自分自身のみならず、「社会」全体とクルマとの関係を考えることを通して、未来の京都のあるべきまちづくりや交通環境について、自分なりの見通しを持つことができる。

プログラムの概要

「歩くクルマは実に便利で快適な乗り物で、我々の社会の豊かさの象徴でもあるが、増えすぎることによる弊害も大きい。何よりCO₂の大量放出は地球温暖化の元凶の一つと言われている。しかし、だからといってすべてのクルマをやめればよいというわけではない。消防車やパトカーは必要だろうし、お年寄りや足の不自由な人にとっては移動の手段として必需品である。要は過度にクルマに頼りすぎることなく「賢く」つきあうことが必要なのである。本学習は、一見、個人的利益と社会的利益のトレードオフの関係に見えるクルマ社会を我がこととして見直すことを通して、タテマエではなくホンネで、自分と環境とクルマ社会の関係を考えようとするものである。

学習指導要領との関連

学年	小学校1・2年	小学校3～6年
教科/領域	生活	総合的な学習の時間
学習内容	<p>2 内容(4)</p> <p>公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなが使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</p>	<p>1 目標</p> <p>横断的・総合的な学習や探究的学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</p>



クルマをめぐる交通環境に関する問題は、CO₂排出量の増加、健康の悪化、安全の減少、道徳性の低下等、相互に関わりを持っている。



相対的なクルマの過度の利用は、準公共財である道路の渋滞や混雑現象を引き起こす一方で、化石燃料の枯渇を促進する。



クルマ利用の個人的利益と社会的不利益のトレードオフ環境のもとで、クルマ利用に関わる現在世代の将来世代に対する責任を考える。



持続可能な未来を築くための教育としてのESDにおいては、このままでは持続不可能になる現実を分析し、冷静に批判できる力の育成が求められる。



持続可能な未来に確信を持つためには、持続可能な社会の未来像を具体的に予測し、そのための計画を立てる力の育成が求められる。



ともすれば持続可能な未来の姿が描きにくい現代において、それでもなお持続可能な未来の形成に参画するためには、進んでその形成に参加しようとする意欲・態度・責任感を必要とする。

ESDで育みたい能力／態度

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

市バスとともだちになろう

- バスに乗った経験を発表する
- どこのバス停から乗ったか思い出す
- 市バスに乗ってどこまで行けるか考える
- 値段を予想する
- Q ジュース一本120円より高いかな？
- 市バスの車内クイズ
- Q 「2台のバスを比べてみよう」
- Q 「ここには何が入っているか」
- Q 「この緑のひもは何に使うのか」
- Q 「このイスはなぜたためるのか」
- Q 「この3カ所に貼られているシールは何か」
- Q 「このノートと鉛筆は何に使うのか」等
- バスの降り方を考える
 - ・ お金やカードを入れ降りる
 - ・ 運転手さんにお金を渡す
 - ・ 回数券が使える

- ・ 何種類かのバス停の写真を見せ、どのバス停が一番最寄りのバス停に近いか考えさせてもよい。
- ・ 校区のバス停の写真を集めて並べるとより身近に感じられる。
- ・ 厳密に考えるのは低学年には難しいので、市バス網が細かく展開していることを体感させる程度にする。
- ・ 身近な物の値段と比べながら考えさせる。
- ・ 均一区間／一日乗車券大人
- ・ バス車内に関する資料から取捨選択し利用する。
- ・ 可能ならバスの中でのマナーの話も併せて行う。
- スライド資料「新しいバスと古いバス」
- スライド資料「スロープ格納庫」
- スライド資料「ベビーカー固定のベルト」
- スライド資料「車イス用の折りたたみイス」
- スライド資料「優先座席のシール」
- スライド資料「筆談具」
- ・ ボタンを押して、お金を入れておける。おつりは出ないことを補足する。
- ・ 10,000円等の高額の高額両替もできないことに触れる。
- ・ 一回券、一日券、回数券、敬老乗車券など、いろいろな切符のあることに関心を持たせる。

低学年
(1時間目)

批判 未来
多面 伝達
協力 関連
参加



活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

クルマと生活の関係を見直そう

中学年
(2時間目)

- クルマを使う生活について考える
- Q「日ごろクルマを使っていますか？」
- クルマを使う生活、使わない生活について考える
- Q「使う生活のいいところは？」
- Q「使わない生活のよいところは？」
- かしこいクルマの使い方を話し合う
- Q「クルマをかしこく使うにはどうしたらよいでしょう？」
- 「歩くまち・京都憲章」で何が言いたいのか考える
- 学習のふりかえり

- ・校区内の渋滞の様子が見える写真を提示する。
- ・事前に自動車保有についてのアンケートをとっておく。
- ・車の利便性に気付くようにする。
- ・二酸化炭素が地球温暖化の原因になっていることを知らせる。
- ・グループで話し合い、出てきた意見をホワイトボードにまとめる。
- ・「歩くまち・京都」憲章について知らせる。
- ・アイドリングストップや電気自動車について知らせる。
- ・公共交通機関の利便性について知らせる。
- ・LRT（次世代型路面電車）について知らせる。

批判	未来
多面	伝達
協力	関連
参加	



活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

秋の嵐山は大渋滞 ―嵐山へ観光に行くにはどのような方法がよいかを考えよう。―

高学年
(3時間目)

- (1)「ようこそ、嵐山へ」のパンフレットをつくって、あらためて感じた自分たちのまちへの思いを話し合う
Q嵐山には、どんないいところがありますか？
- (2)嵐山を観光するなら、どんな乗り物で来ることをおススメするか話し合う
Q「観光シーズンの交通渋滞の写真を見て、どう思いますか？」
- 嵐山へ来る観光客は、どこから来るのでしょうか
○マイカーを使わずに嵐山へ来るにはどのような方法があるか考える
- (3)パーク&ライドや「歩くまち京都」について知り、「歩くまち嵐山」につなげる
- (4)交通について、分かったこと感じたこと、観光客に伝えたいことを書く

- ・導入なので自然や景観など目に付くものでよい。
- ・天龍寺は世界遺産にも含まれているものことに触れる。
- ・嵐山は京都市民の憩いの場であるのみならず、世界中の人々が訪れていることに触れる。
- ・マイカーでの観光が多く、交通渋滞の問題があることに気付くようにする。
- ・どの方面から来るかにより、利用する交通手段が異なることを示唆する。
- ・地図に色を塗ったり印をつけたりして、多様な公共交通機関が利用できることに気づくようにする。
- ・グループで話し合うことにより、より様々な考えが出るようにする。
- ・パークアンドライドの仕組みについて説明する。
- ・社会の仕組みを考えることでクルマを減らせることに気づかせる。

批判

未来

多面

伝達

協力

関連

参加

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

本事業にご参画・ご協力いただいた皆様

京都府教育庁学校教育課、京都府環境政策課、京都市教育委員会学校指導課、京都市環境総務課

○授業実践グループ

京都教育大学附属京都小中学校、京都市立梅津北小学校、京都市立桃山小学校

○授業支援グループ

- ・ 大学…京都教育大学教育学部、京都大学大学院工学研究科、愛媛大学大学院工学研究科
- ・ 行政…京都市都市計画局歩くまち京都推進室、京都市教育委員会学校指導課、同総合教育センター
- ・ 民間…一般社団法人 システム科学研究所

実証協力校等

京都市立梅津北小学校、京都市立桃山小学校、京都教育大学附属京都小中学校